

血管新生黄斑症

1 . 概要

眼の黄斑部に新生血管をきたし、視力が低下してしまう疾患。50 歳以上におきる加齢黄斑変性と似ている。

2 . 疫学

不明。

3 . 原因の解明

不明。色素上皮の断裂が起きるような疾患（たとえば弾力繊維性仮性黄色腫）で高頻度に発生する。病的近視でも同様な病態がおきるが、まったく正常の眼底にもおきることもあり、特発性血管新生黄斑症といわれる。

4 . 主な症状

ものがゆがんで見える。（歪視）視力低下等。

5 . 主な合併症

症状は眼特異的である。

6 . 主な治療法

新生血管を押さえるため、抗 VEGF 薬の硝子体注射や光線力学療法がおこなわれるが、治療が長期にわたり、無効例も存在する。我々は HLA* A 拘束性の VEGFR ワクチンを試みている。

7 . 研究班

血管新生黄斑症研究班